

令和6年度 学校評価アンケート集計結果

本校では、学校自己評価の資料とするために、保護者や生徒、教職員を対象とした「学校評価アンケート」を実施しております。保護者の皆様には、ご多忙中にもかかわらずご協力をいただきありがとうございました。アンケートの集計結果と分析がまとまりましたのでご報告いたします。

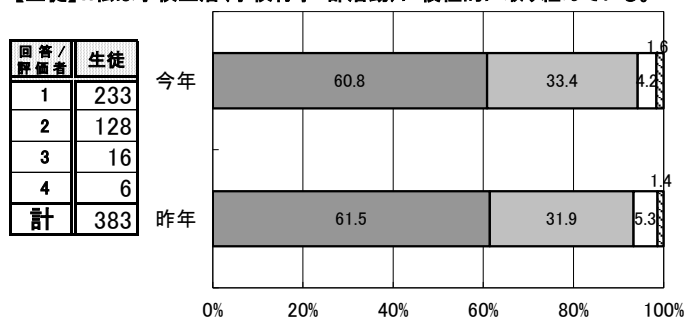
評価者数:	【1年】	【2年】	【3年】	【計】
生徒	144	101	138	383
保護者	102	107	75	284
教職員	／	／	／	38

回収率:	【1年】	【2年】	【3年】	【計】
生徒	91.1	64.3	90.2	79.8
保護者	65.8	68.2	49.0	59.2
教職員	／	／	／	97.4

回答番号 1. よくあてはまる ☐ 2. ややあてはまる ☐ 3. あまりあてはまらない ☐ 4. 全くあてはまらない ☐

◆質問1

【生徒】1.私は学校生活(学校行事・部活動)に積極的に取り組んでいる。



肯定的回答の割合が9割以上という状態がここ数年維持されている。この生徒の積極性をさらに学習面や進路面等での向上につなげたい。

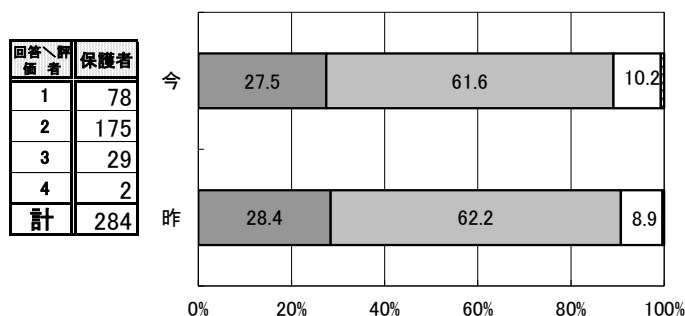
◆質問2

【生徒】2. 私は、学習に意欲的に取り組んでいる。



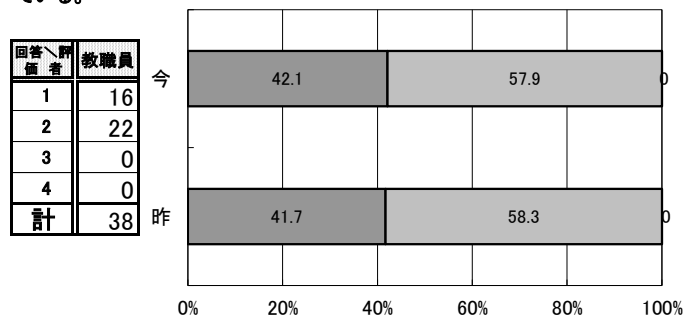
ここ数年、肯定的回答が増加傾向にあったが、今年度は昨年度より5%ほど減少という結果になった。進路実現に際して学力がネックとなるケースが増えていることもあり、「学ぶことの大切さ」を授業だけでなく学校生活の様々な場面で考えさせ、基礎学力の定着のための意欲的な取り組みを促していく必要がある。

【保護者】1.私は、黒南高の教育活動に関心がある。



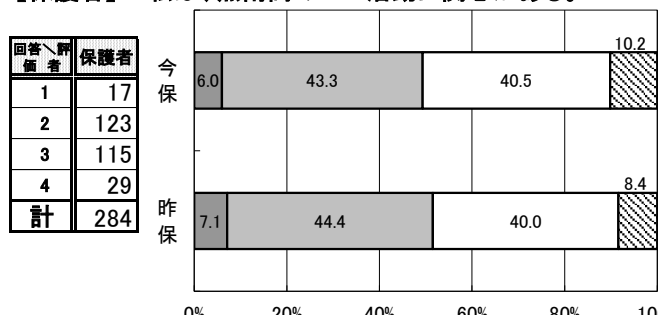
肯定的回答の割合が9割近くあるが、昨年度よりわずかに減少した。このまま減少が続くことのないよう教育活動全般にわたってさらに積極的に情報発信していくことが必要である。

【教職員】1. 私は、本年度の努力点(9項目)に対して、前向きに取り組んでいる。



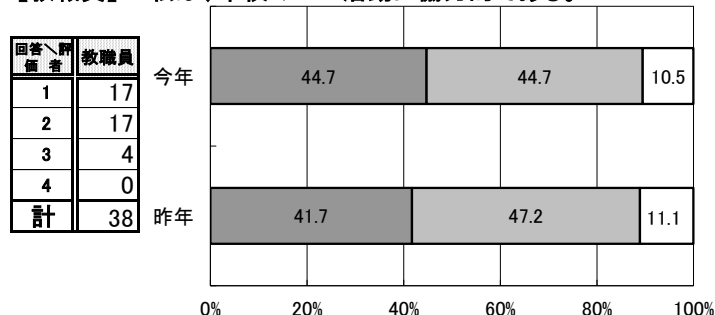
昨年度とほぼ同じ結果である。肯定的回答が100%という状態がここ数年維持されているが、回答の内訳が「ややあてはまる」の方が多数というのも変わらない。教職員全員が目標を共有し、連携を図りながら課題解決に向けて努力し続ける姿勢が大切である。

【保護者】2. 私は、黒南高のPTA活動に関心がある。



肯定的回答と否定的回答がほぼ同数である。PTAについては社会情勢の変化もあり、全国的にそのあり方が議論され、組織のスリム化など時代に合わせた形に変える学校も増えている。本校でも、さらに多くの人が関心を持ち参加できるPTAを目指して従来の活動を見直す時期にあるといえよう。

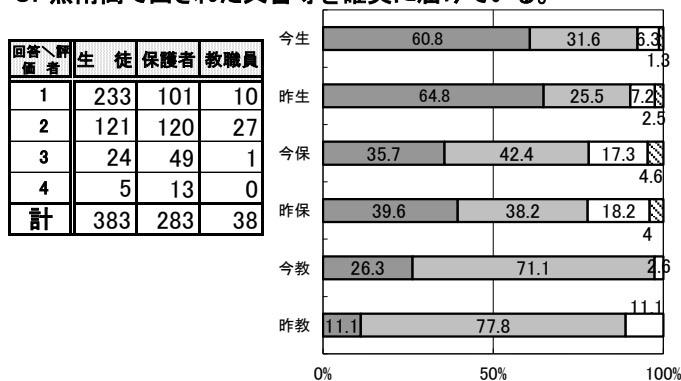
【教職員】2. 私は、本校のPTA活動に協力的である。



「よくあてはまる」の割合が、わずかずつではあるが年々増加している。保護者と学校との連携は必要不可欠であり、教職員一人一人がPTA活動の意義や、どう関わるかについて考えていくことが大切である。

◆質問3

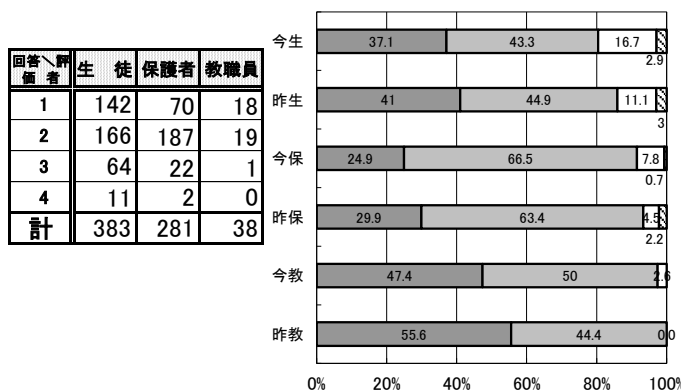
3. 黒南高で出された文書等を確実に届けている。



生徒・保護者・教職員とも肯定的回答に増加がみられる。ただ、生徒と保護者の意識には依然として乖離がある。配布物の電子化が進んでいるが、紙媒体の配布物も確実に届くことを目標に、各家庭の協力も得ながら今後も取り組んでいかなければならない。

◆質問5

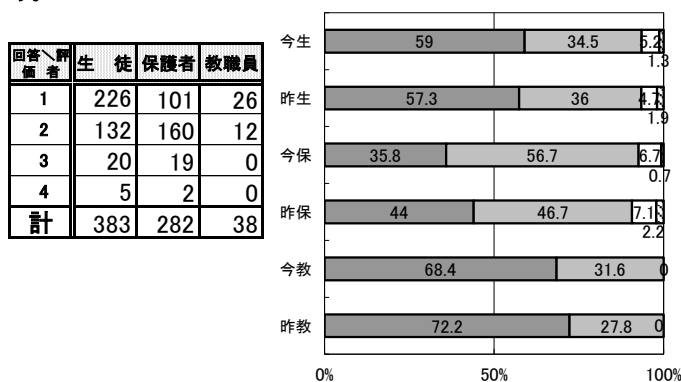
5. 黒南高は、チャイムtoチャイムを実践し授業を大切にしていると思う。



チャイムtoチャイムが実践されているという認識は昨年度と比較して若干減っているが、生徒・保護者・教職員とも8割を超えている。生徒のなかには実施できていないという回答をしている者もみられるが、教員内には否定的な意見が非常に少ない。総合学科の特性上、頻繁な教室移動は生徒にとって大変な負担であることが要因になっていることも伺える。今後も時間を守ることがとても大切であるという共通認識を持ち、実践に努めていきたい。

◆質問7

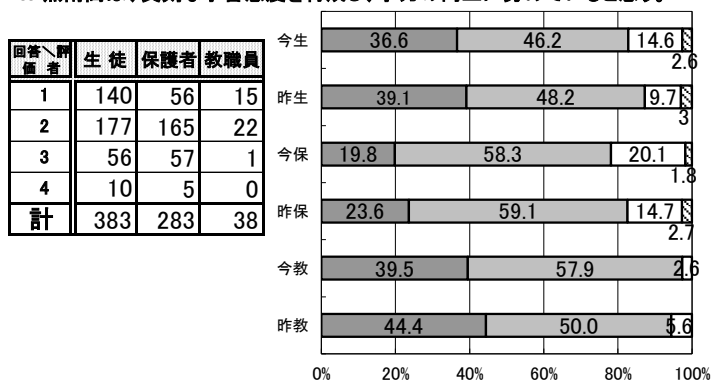
7. 黒南高は、生徒の進路希望にあった科目が設定されていると思う。



生徒、保護者は昨年度と変わらず肯定的な回答が多いが、保護者の「よくあてはまる」の回答が1割程度減少している。進路実現に向けての生徒、保護者への情報提供等を早期のうちに進めていくことによって、科目選択の重要性を理解してもらい、高校生活の充実、進路決定に繋げてもらいたいと考える。今後、科目設定・科目選択の取り組みをさらに充実させていく必要がある。

◆質問4

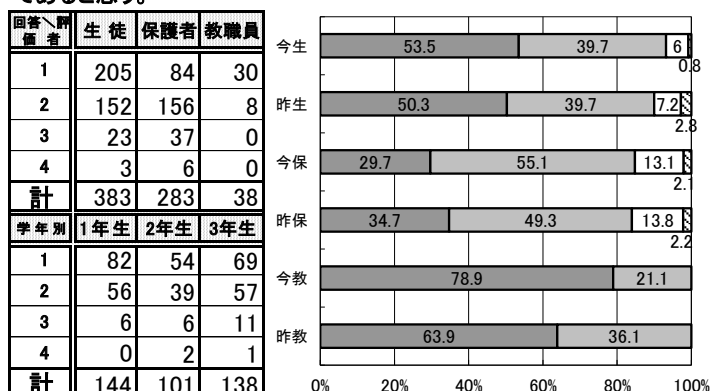
4. 黒南高は、真剣な学習態度を育成し、学力の向上に努めていると思う。



「真剣な学習態度」を身につけるために努力していると認識している割合は、今まで生徒・保護者・教職員とも80%程度は維持していた。しかし今年になって「あてはまらない」と感じている保護者が20%を超えてきており、厳しい評価を受けている。また、生徒・教員ともに昨年同様一定数存在している。生徒に対しては引き続き「真剣な学習態度」が学力向上や進路実現に直結していることを今後も強く認識させ、実感できるだけの成果をあげていく方策を実践していくべきであろう。

◆質問6

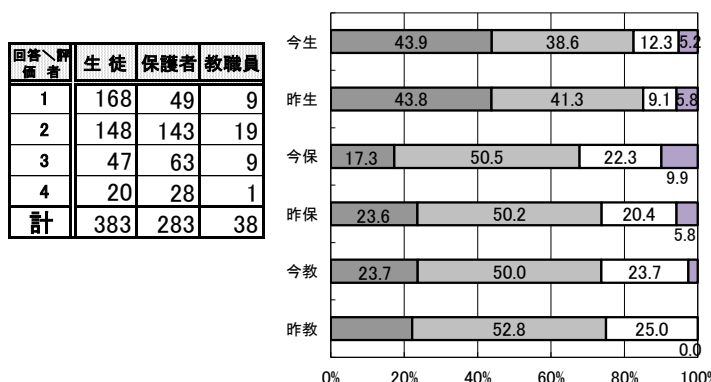
6. 黒南高は、進路情報の提供や進路相談などの進路指導が適切であると思う。



肯定的な回答の割合は昨年度とあまり変わらない。しかし「よくあてはまる」と答えた割合が、生徒は若干増加し、保護者は減少しているが、教員は10%増加しており、生徒・保護者との認識のずれが見られる。引き続き、生徒への個別指導や保護者への連絡等が行き届くような適切な指導を心がけたい。また、「あてはまらない」と回答をした1割弱の生徒や、進路が未定になっている生徒への支援の強化、情報の提供等の働きかけが重要になると思われ、今後の課題になる。

◆質問8

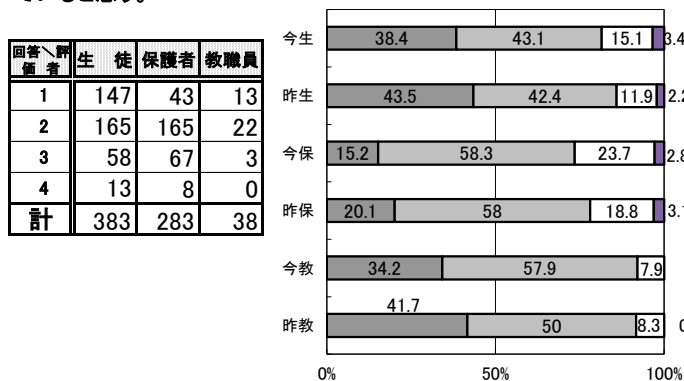
8. 黒南高は、服装・頭髪等の指導を適切にしていると思う。



昨年度と比較して大きな変化はなかった。生徒と保護者・教職員の否定的な回答の差が10%程度あるが、自由記述の回答を見ると「もっと服装・頭髪の指導を厳しく」との意見が多くあった。生徒は適切だと思っている、社会的に見るともっと厳しく指導しても良いのかもしれない。

◆質問 9

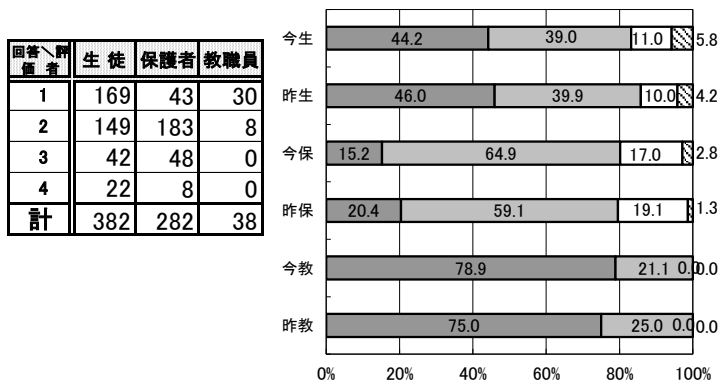
9. 黒南高は、挨拶・言葉遣い・礼儀・時間厳守などの社会性を育成していると思う。



昨年度と比較しても大きな差はなかった。授業の始業時間に遅れる生徒や挨拶ができない生徒も多くいるので、社会性の育成にもっと力を入れていくべきである。家庭でも、基本的な生活習慣の育成に協力をお願いしたい。

◆質問10

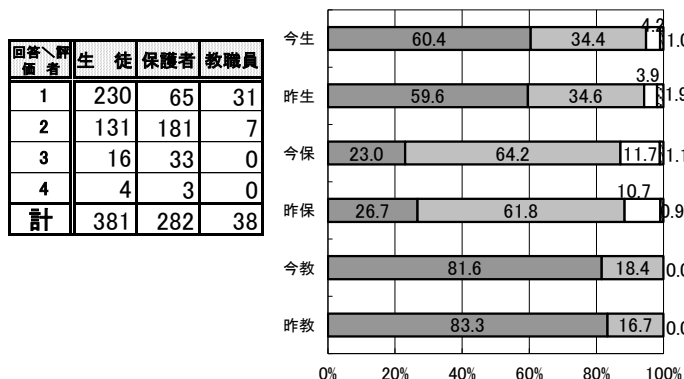
10. 黒南高は、いじめの未然防止や解消に取り組んでいると思う。



例年とあまり変わらない結果となっている。教職員は肯定的な回答がほとんどであるが、生徒・保護者は否定的な回答が20%弱ある。教員が把握しきれていないものや、SNSなどのネット上のトラブルは発見が難しく、生徒からの相談でようやく発覚することも少なくない。生徒の様子の変化に気づき、より組織的な対応が求められる。

◆質問11

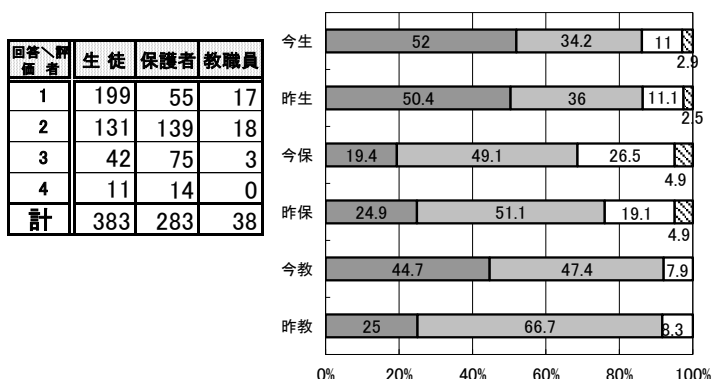
11. 黒南高は、交通・生活安全講話や薬物乱用防止講話、性に関する講話などを実施するなど、生命尊重の精神を育成していると思う。



昨年度と大きな差はみられず、生徒と教員は肯定的な意見が多いが保護者の否定的な意見は10%弱みられる。校内の講話などだけでなく、学校外でも生命尊重の精神が育まれるよう、呼びかけていく必要がある。

◆質問12

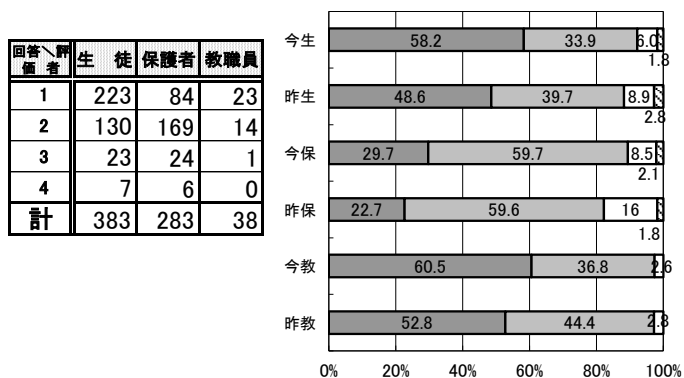
12. 黒南高は、部活動が充実していると思う。



昨年度から若干ではあるが生徒と教員の肯定的な意見が増加した。保護者は5%ほど減少した。コロナが落ち着いて、部活動はコロナ前同様に活発に活動しており、大会出場などの機会が増え、活躍している生徒も多い。教員・生徒と比較すると、部員数や中学校での部活動のギャップなどから、保護者には物足りなさを感じられる方もいるかもしれない。

◆質問13

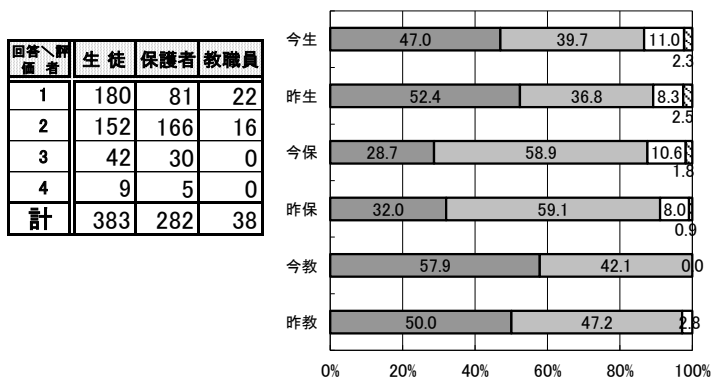
13. 黒南高は、外部講師の講演・海外研修・留学生受け入れ等、国際理解教育に力を入れていると思う。



今年度は昨年度よりいずれも肯定的な意見が5～10%増加した。外部講師による講演会、海外研修の実施、留学生の受け入れなど、国際理解教育について充実した活動ができた結果の表れであるといえる。社会情勢などの影響もあるが今後も引き続き力を入れていきたい。

◆質問14

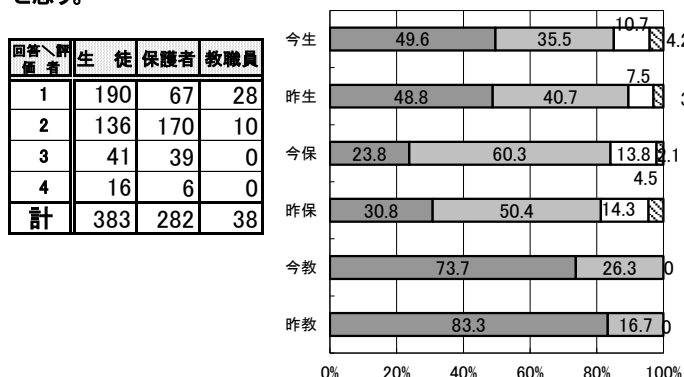
14. 黒南高は、校内の安全や衛生が、よい状態に保たれていると思う。



結果は昨年度と大きく変わらず大多数が肯定的な意見ではあるが、生徒・保護者・職員全てで否定的な意見がわずかながら増加している。また、1割の生徒・保護者が否定的な意見であることから、清掃指導等に改めて力を入れていきたい。

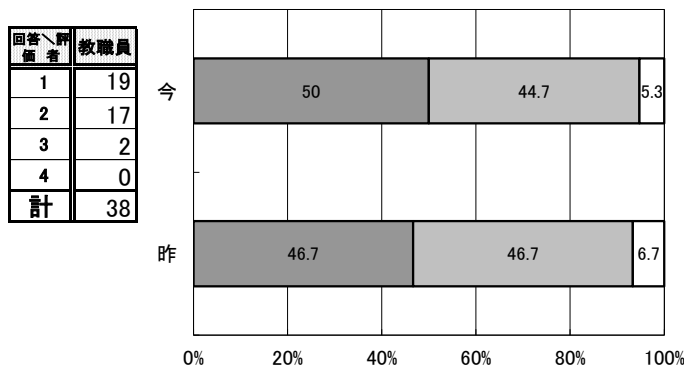
◆質問15

15. 黒南高の先生は、悩み事の相談に親身になってのつてくれていると思う。



教員の大多数が肯定的な意見なのに対して、生徒・保護者は約15%が否定的な意見である。多忙な校務の中で生徒とゆっくり向き合う時間を取りにくいこと、教師が把握しきれていない悩みがある等原因は考えられるが、悩み等を把握した際には組織的に対応をし、生徒の悩みと向き合っていきたい。

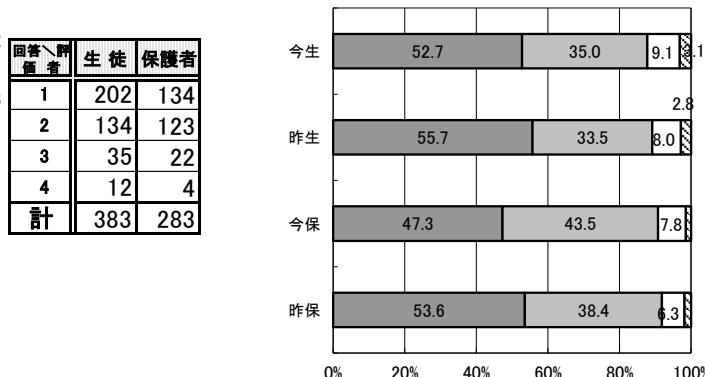
【教職員】16. 私は、本校入学を中学生に対して自信を持って薦めることができる。



前年度に引き続き「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した教職員の割合が9割を超えたが、わずかながら否定的な回答もある。今後も本校の教育活動をより充実させるため、問題点解決へ向けた取組が必要だと思われる。

◆質問16

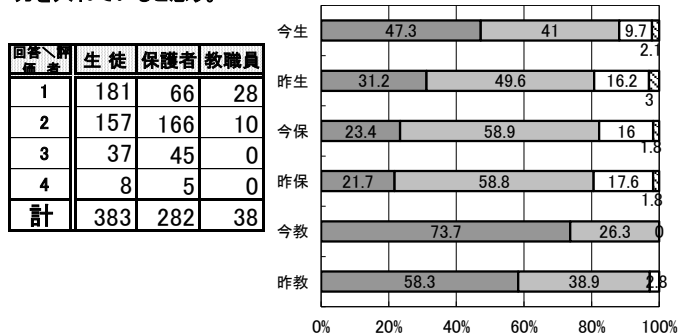
16. 私は(自分の子供が)黒南高に入学してよかった。



昨年度と大きく差はみられず、生徒・保護者どちらも肯定的な意見が多いが、今年度は昨年度より「よくあてはまる」と回答した生徒・保護者がいずれも減少した。コロナも落ち着き、学校行事も復活してきたので、生徒たちが学習や部活動など安定した学校生活を送ることが出来るよう、引き続きよりよい学校作りに励んでいきたい。

◆質問17

17. 黒南高は地域と共にある学校づくりを目指し、地域と連携する活動に力を入れていると思う。



地域連携事業への積極的な取り組みやホームページの活用等の評価が教職員の数字に表れ、否定的な回答はほとんどなかった。生徒・保護者も今年は「よくあてはまる」と回答した割合が昨年度と比較して増加している。今後さらに活動に力を入れるとともに、ホームページ等を活用して広く情報発信していきたい。

昨年度の学校評価アンケートを受け、教職員一同様々な角度から検討し、早急に取り組めることから改善に努めてまいりました。今回の学校評価においても、生徒・保護者の皆様から貴重なご意見・ご要望をいただきました。これらの結果を今後の教育活動や学校運営に生かし、保護者の皆様にご理解をいただきながら、特色ある学校づくりを進めていきたいと考えております。